



東海中新聞

NO. 346

令和2年 4月号

家族のような

東海中に

校長 今枝武司

新型コロナウイルス感染拡大防止の影響で、令和二年度の入学式は新入生と保護者、職員のみでの参加でした。ぜひ観ていただきたいご来賓も父母教師会長様のみの臨席という中で実施しました。新入生の凛々しくも整然とした態度に感動し、新入生代表の「一日も早く自ら考え行動できるようにがんばりたい」との誓いの言葉を聞き、私たちががんばらねばと決意を新たにしました。

今年度の目標は「自分で考え行動する生徒を育てます」、「想像力のある生徒を育てます」の二つです。今の生徒が社会に出て活躍する時代は、今よりももっとグローバル化が進み、本格的なAI時代に突入していきます。その時代を生きるには新しい学力が必要です。それは、自分で考え、想像し、発信していく力だと考えます。

「自分で考え行動する生徒」とは、やっといういいことといけないことを理解し自ら行動を起こす生徒であり、一時的に落ち込んで心折れない生徒のこと

です。「想像力のある生徒」とは、未知の状況に対応して、未来を切り拓き、こうだったら面白いと考えることのできる生徒のことです。具体的に次のようなことを行います。

- ①一人も見捨てない『学び合い』の授業を中心に、個に応じた授業を展開します。
- ②自分が役立っていると実感できる行事の創造に努めます。
- ③生徒が創り上げる生徒会活動を展開します。
- ④夢をもつことの大切さを考える教育講演会を行います。
- ⑤中学生だからできることを考え、積極的にボランティア活動を行います。

新型コロナウイルスの影響は計り知れませんが、でも、今はみんなで協力して、この困難を乗り越えましょう。困難な時だからできることがあります。前向きに考えて取り組むことです。

一日も早く学校が再開され、笑顔あふれる家族のような温かくて落ち着ける東海中学校にしていきましょう。

保護者の皆様、地域、関係者の方々、「チーム東海」として、生徒、教職員と心一つにして、子供たちの幸せな未来のためにご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

お別れの言葉

かけがえのない六年間



【秦梨小へ(校長)】

中村 公治

秦梨小の学区

を歩いていると、山の本々の美しい色合いが目映り、東海中と同じ環境に心が落ち着きます。

東海中での六年間は、私にとってかけがえのないものとなりました。様々な取組に意欲的に取り組んでくれた先生たち。温かく見守り支えてくださった保護者や学区の方々。感謝しかありません。そして何より素晴らしかったのは東中生。生徒たちが主体的に考え実践する

東中教育を
実現してく
れたと思っ
ています。

これから
の東中のま
すますの発
展を期待し
応援してい
ます。



すべてが最高!

大久保 孝治

【六ツ美北中へ (教頭)】



この四年間、東海中から数え切れないほどの喜び、感動、貴重な思い出をもらいました。まず、何よりも生徒が最高! 前向き、まじめで一生懸命、素直で明るい、優しい、やる時はやる... 何百個でも言えます。

そして、明るく温かな保護者の方々
が最高! 東中をいつも温かく見守つ
てくださる学区の方々
が最高! またいつか、戻れることを強
く願っています。四年間、本当にあり
がとうございました。

ありがとうございました

上田 節男



【梅園小へ(校務)】
第七十三回卒業

証書授与式は、大変な状況の中にもか

かわらず、感動的な式でした。卒業生が歌う卒業の歌はそこには不在の在校生にも届くほどの迫力を感じ、また、感動を覚えました。卒業式リハールでは、今までにない声量と綺麗な

ハーマニーで二年生がその役割を完璧に果たしました。一年生はテレビ放送で式練習に参加しました。そして、廊下に出て精一杯歌って三年生に気持ちを送りました。すべてが今までにない卒業式でしたが、同じように今までにない感動がありました。

東海中で過ごした八年間をこのように感動で終われたことに感謝しています。これからの東海中がますます楽しみです。卒業式のようにピンチをチャンスに変えて大きな感動を味わえる学校であり続けてください。

幸せな三年間

水鳥 綾

【藤川小へ(産休)】



東海中に来て、みなさんとたくさん
の歌を歌うことが

できて、幸せな三年間でした。秋になると学校中から歌声が聴こえてくる東海中が大好きでした。人は変わり、時代が変わっても、いつまでも素敵な歌声が響き渡る東海中でいてください。一緒に歌ってくれて、ありがとうございました。

よろしくお願ひします
令和二年度転入者

教頭	鈴木 淳司	市教育委員会より
教務主任	伊藤 篤史	城北中学校より
校務補佐	原林 久代	岩津小学校より
常勤講師	永井 丈流	新任
非常勤講師	栗田 京子	大府東高校より
非常勤講師	山本 桂子	額田中学校より
SC	栗田 史子	福岡中学校より

常に生徒が主役となる東海中に

鈴木 淳司

現在、東中生は、満足できる学校生活を送れています。家庭生活も大きく制限されていません。そんな中、事故やトラブルを起こさず、節度をもって生活していて、大変誇りに思います。また、休校中、登校する様子を見ても、新年度に向けた深淵とした言動が見られ、大変頼もしく思います。

学校再開後は、転任された東中愛にあふれる先生方に負けないよう、常に生徒が主役となる学校の創造を目指します。皆様方には、充実した教育活動ができますよう、引き続き、ご理解、ご協力をお願いいたします。

入学式 四月七日

新型コロナウイルス感染拡大の影響で開催が心配された入学式ですが、父母教師会会長の山本直樹様にご臨席いただき、整然と行うことができました。新入生一三五名も身動きひとつせず立派でした。一・二年生は教室でテレビ視聴での参加となりました。

新入生誓いのことば

春の暖かさが感じられる今日、私たちは、この東海中学校の入学式を迎えることができました。新しい制服に身を包み、緊張感をもちながら、中学校生活への期待を胸に、学校の門をくぐりました。私は、中学校生活でがんばりたいことが三つあります。

一つ目は授業です。中学校では、小学校に比べて学習内容が専門的になり、学習についていけるように、日々の授業を真剣に取り組み、学んだことを家で振り返るようにして、力を伸ばしたいと思います。

二つ目は部活動です。私は吹奏楽部に入りたいと思っています。先輩たちに教わりながら、仲間とたくさん練習をして、すばらしい音楽を作り上げたいと思います。部活動にも真剣に取り組んでいきたいと思っています。

三つ目は行事です。入学説明会で体育大会や文化祭、修学旅行などについて聞き、とても楽しみになりました。どの行事でも、仲間と協力して、思い出に残るものになりたいと思います。

私たちは、今までと異なる、環境

で生活をし

ます。なれない生活に不安もあります。先生方や先輩たちにご指導をいただき成長していきたいと思っています。一日も早く自ら考え行動できるようにがんばりたいと思います。

在校生歓迎のことば

やわらかな春風を頼に感じ、心華やぐ時期になりました。新入生のみならず、ご入学おめでとうございます。私たちはみなさんが来ることを心待ちにしています。みなさんはこれからの中学校生活に不安や期待でいっぱいだと思います。僕自身も入学した時はそういう気持ちでした。

小学校とは違うところがたくさんある中で、難しくなる授業内容についていけるのか、部活動についていけるのか、そのような気持ちももっているかと思っています。でも、はじめはそう思



っていた僕も先輩方や先生方に助けられ、今では当時の不安も忘れてしまふほど、学校が楽しくなっています。また、東海中学校では『学び合い』という考え方の学習を行っています。授業中には自由に意見交換を行い、友達とお互いに教え合いながら勉強をしていきます。一人も見捨てないで「全員が」達成することを目指しています。「全員が」助け合う気持ちが必要です。[全員が]達成することを目指しています。[全員が]達成することを目指しています。

級の生活や、体育大会、文化祭などの行事にもつながり、全校で作りに上げられる雰囲気になっていきます。それにより、これらの行事を活気ある、感動的なものとするのができ、大きな成長の場となっています。

みなさん自身で体験して、感じていただく。困った時にはいつでも僕たちや先生方を頼ってください。みなさんのためなら全員が優しく支えてくれます。一緒に楽しく、充実した中学校生活を送っていきましょう。



今年度の主な予定

- 四月 PTA総会(中止)
- 五月 学生会(中止)
- 五月 総合体育大会(中止)
- 五月 中間テスト(延期)
- 六月 授業参観・部活保護者会
- 六月 期末テスト(延期)
- 七月 市長杯(未定)
- 七月 保護者会(延期)
- 八月 家庭訪問(希望者のみ)
- 九月 寄贈品バザー
- 九月 体育大会
- 九月 キンズデザイン(四日まで)
- 十月 中間テスト(九日まで)
- 十月 修学旅行(十四日まで)
- 十月 職場体験学習(十五日まで)
- 十一月 文化祭
- 十二月 期末テスト(二十七日まで)
- 十二月 保護者会(九日まで)
- 十二月 マラソン・駅伝大会
- 一月 三年学年末テスト
- 二月 スキー学習(四日まで)
- 二月 二年学年末テスト
- 三月 卒業証書授与式

※あくまでも現時点での予定です。様々な都合で変更もありませんので、ご了承ください。